

科目名	情報処理Ⅲ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	中西 宏文	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

本講義では、情報処理Ⅰで養った基本的な情報活用能力を元により高度な情報活用能力や情報発信能力の育成を目標とする。具体的には、高度な表計算ソフトの活用、データベース作成統計処理などについて習得する。

＝履修の条件と学習の方法＝

情報処理Ⅰで学習したパソコンの基本操作が習得できている必要がある。自分自身で体験しながら習得する必要があるため、授業にはすべて出席することが必要となり途中欠席すると受講の継続が困難となる。教室では、飲食禁止とし、授業時間中に許可なく携帯電話・情報端末等の操作をしたり、注意しても私語を止めない場合は、以後、授業の受講を認めず、単位を認定しない。また授業の運用上、受講生の上限を30名とする。

＝授業内容＝

第1回目から第15回目までの授業内容は、下記の通りです。

- 1回 基本的な情報活用能力の復習
- 2回 表計算ソフトの基本概念の復習—相対参照と絶対参照
- 3回 Excel 応用(1)—労働時間と日給
- 4回 Excel 応用(2)—年齢別人口構成比のグラフ作成
- 5回 Excel 応用(3)—アルバイト代の計算(Hour, Minute, if 関数)
- 6回 Excel 応用(4)—長距離走の結果処理(vlookup)
- 7回 統計処理(1)—度数分布表とグラフ、基本統計量(平均値・中央値・最頻値・分散・標準偏差)
- 8回 統計処理(2)—相関係数・回帰分析・予測
- 9回 CSE 配列数式の利用基礎
- 10回 CSE 配列数式の利用応用
- 11回 ワードとExcelの相互利用
- 12回 マクロの記録
- 13回 マクロの編集とVBA
- 14回 各種関数を利用した統計処理の演習
- 15回 まとめの演習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

表計算ソフトを使用した各種処理能力などについて、授業中に適宜、演習課題を課し評価する。授業への遅刻や授業中の私語・居眠り等は、減点の対象とする。最低限、教科書やWebページを参考にしながら操作できる程度の理解を必要とする。

＝テキスト(必携)＝

書籍名：実践活用 コンピュータリテラシー
 著者名：中西宏文 著
 出版社：学術図書出版